

## 広報 第一号

## さくら前線

## 高齢化社会と認知症

常盤平中央病院  
院長 鈴木 毅

近年、日本人の平均寿命は女性で87歳、男性で81歳となり90歳以上の人もまれではない人口構成になってきています。90歳以上になると半数の人が認知症になると言われており、もはやどちらが正常で、どちらが異常ともわからない世界になってしまっています。当然、社会的にも大きな問題であり、認知症の人が増えれば、介護する人の人数も増えていくこととなります。認知症を予防することはできませんが、認知症の危険因子を減らしていくことは可能です。

認知症の危険因子として言われていることは、①教育②聴力低下③飲酒④喫煙⑤運動不足⑥社会的孤立⑦高血圧症⑧糖尿病⑨肥満⑩抑うつ⑪薬剤といろいろなことがあります。

基本的に日本の義務教育の範囲までの教育であれば差はみられていません。

偏差値や知能と認知症は、直接関連はありませんが、知能が高い人ほど、最初は認知症と気づかれにくい印象はあります。危険因子の中でも聴力低下は大きな関連を認めています。人の話が聞きとりにくい場合は早急に対処しましょう。

飲酒や喫煙は病気との関連もあります。逆に関連は早急に対処しましょう。腰が衰えれば脳も衰えるということです。社会的孤立はコミュニケーション不足となり、新しいことを考える機会を減らします。現代社会では、インターネット通じたコミュニケーションも一つの手段だと思えます。高血圧症や糖尿病をきちんと治療することは当然ですが、外傷による硬膜下血腫や甲状腺機能低下症など、病気の一症状として認知症と同じような症状が出る場合があります。認知症が疑われれば、まず、医療機関に相談しましょう。

自分で認知症にならないように注意していくことは重要ですが、認知症に関して最も大事なことは、認知症になった人やその周囲の人が、安心して暮らせる優しい社会をわたしたち一人一人が作り上げていくことだと思えます。

くことだと思えます。

## 施設紹介

常盤平中央病院は、1961年に千葉県北西部の松戸市常盤平地区に開設され、以来59年間、地域と共に歩んでまいりました。

## 当院のある常盤平

地区は新京成線常盤平駅から五香駅にまたがる、総戸数4834戸の常盤平団地を中心とした住宅地と大小の公園からなります。

地域の中核となる常盤平団地は高度経済成長期に計画・建設された団地共通の傾向として、高齢化世帯、単身世帯が増加傾向にあります。当院は2013年にさくらライフグループの一員となったことを機に、地域のニーズに合わせ外来診療だけでなく訪問診療、訪問看護に力を入れております。

また、地域のお祭りやスポーツ大会などの行事に、お手伝いとして参加させていただくことで、診療以外の部分でも地域の皆様との接点を大切にし、地域のホームドクターとして貢献できるよう取り組んでおります。





薬局だより

皮膚疾患について(その3)

主任管理薬剤師 門脇 寛篤

今回は皮膚疾患では有名な2つの疾病についてご紹介したいと思います。

一つ目は「带状疱疹(たいじょうほうしん)」。带状疱疹とは、読んで字の如く、帯状に湿疹よりもひどい赤みの皮膚病が延びて発生する病態をいいます。ウイルス性疾患の一つで、抗生物質では効果がありません。

带状疱疹の特徴として、「痛痒い」があります。その症状は、7日間限定で服用するお薬を飲み切った後でもあと残りすることがあります。その場合は、神経痛の改善薬やビタミン剤の投与などをを行います。もともと、帯状に湿疹が出来る原理として、神経線維にウイルスが付着して、それに沿って炎症を起こしていくからであると言われています。带状疱疹までにならずにその手前で発見した場合(というわけではないが、症状が軽い場合)には「単純疱疹」という病名となり、薬剤服用期間は5日間となります。

続いて、「蜂窩織炎」です。この病気は、皮膚がやはり赤みを帯びて全体的に広範囲で炎症をもたらすため、赤み

が腕半分、または足半分に生じて、これは何だろう、赤く腫れ上がってしまった...といった際に疑う病気です。原因は皮膚の下の筋膜に雑菌が混入することによる感染症であり、治療は点滴による抗菌剤投与、5〜7日間となります。炎症が起きているので、炎症性たんぱく質(CRP)等の値も高くなります。これは、比較的どなたにでも起こる病気ですので、皮膚が赤くなり、熱感を帯びていたら、迷わず皮膚科や内科外科へ通院して下さい。入院加療となることが多いですが、一週間で退院可能です。当院外来でもこのような患者様の来院は、休日当番医等でも対応いたします。今回は内容を変えていこうと思えます。次回もお楽しみに!

お知らせ

● 面会お断りのお知らせ

県内にインフルエンザが流行し、感染拡大しております。当面、入院患者様への面会は基本お断りとさせていただきます。ご了承ください。



● 医療の問題・介護の問題があり在宅での生活が困難な方や転院、人工透析療法、訪問診療を希望されている方など、ご相談は医療相談窓口にて対応させていただきます。

診療案内(2月)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科 循環器科	午前	瓜田	於川	於川	於川	於川 ※1	於川
	午後						休診
外科 胃腸科 (整形・リハビリ科)	午前	細井 (群大)	岩崎 (群大)	休診	中澤 (群大)	笹口 ※2	(群大)
	午後						休診

※1 第1金曜日(7日)AM9:45~17:00は非常勤内科医師の診療となります。

※2 第1・3金曜日(7日・21日)は、外科休診となります。

- ◆ かかりつけ患者様の急病時はいつでも対応します。
- ◆ 外科休診日でも軽度のケガ等にご相談ください。
- ◆ 2月休日当番医は、9日(外科)・11日(内科)となります。

※外科医師交代  
岩崎⇒細井(月) 細井⇒岩崎(火)

外来受付時間：午前 8時45分 から 12時00分まで / 午後 13時00分 から 17時00分まで

休診日：土曜日午後、および日曜・祝日

※ 診療日変更となる場合もございますので、院内掲示版や受付窓口にて最新情報をご確認ください。

発行：吾妻さくら病院 広報委員会

吾妻郡中之条町伊勢町 782-1  
TEL:0279-75-3011  
FAX:0279-75-3299  
URL:<http://www.a-sakurahosp.com/>

